

令和4年第10回

教育委員会（定例会）会議録

交野市教育委員会

1. 招 集 令和4年8月22日（月）午前9時30分
2. 開 会 令和4年8月22日（月）午前9時30分
3. 閉 会 令和4年8月22日（月）午前10時5分
4. 出席委員 北田 千秋教育長
村橋 彰教育長職務代理者
亥埜 誠治委員
伊丹 香寿美委員
長谷川 深雪委員
5. 事務局 大湾喜久男 教育次長兼教育総務室長・和久田寿樹 学校教育部長・足立多恵 学校教育部長・西岡浩二 生涯学習推進部長・今堀祐児 学校教育部長次長・本多章博 生涯学習推進部長次長・堤下栄基 教育総務室長代理・殿山泰央 まなび舎整備課長・大隅昌之 指導課長・村上務 社会教育課長・佐伯尚之 青少年育成課長・真鍋成史 社会教育課長（文化財）
6. 議事日程 日程 1 会議録署名委員の指名
日程 2 会議時間決定
日程 3 報告第 8号 教育長の報告について
7. 議事内容
大湾教育次長 皆さま、おはようございます。
それではただ今より第10回教育委員会定例会を開催いたしたいと思います。
教育長、本日の会議進行のほどよろしく願いいたします。
- 北田教育長 はい、では開催の前に事務局から本日の出席状況の報告をお願いいたします。

大湾教育次長 本日の定例会の出席状況を報告いたします。本日の出席者は5名でございます。

同時に、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により本会議は、成立いたしますことをご報告いたします。

北田教育長 報告はお聞きのとおりです。

次に、本日のこの会議でございますが、地教行法第14条第7項の規定により公開にしたいと思っておりますが、ご異議ございませんでしょうか。

各委員 異議なし。

北田教育長 ご異議がございませんので、公開にしたいと思っております。

本日、傍聴希望が2名ございますので、傍聴を許可したいと思います。事務局、準備をお願いします。

それではただ今から、令和4年 第10回教育委員会 定例会を開催いたします。

まず、日程1「会議録 署名委員 指名」を議題といたします。

会議録 署名委員 の指名につきましては、交野市教育委員会 会議規則第20条の規定に従い教育長が指名することとしてよろしいでしょうか。

各委員 異議なし。

北田教育長 ご異議がありませんので、村橋委員を指名します。

次に、日程2「会議時間決定」を議題といたします。

会議時間決定につきましても、教育長一任とさせていただいてよろしいでしょうか。

各委員 異議なし。

北田教育長 ご異議がありませんので、本日はただ今から 10 時 00 分までといたします。

では、報告第 8 号「教育長の報告について」、報告事項 1 の「交野市文化財保存活用地域計画」の策定について（答申）」を議題といたします。

所管課から説明をお願いします。

真鍋課長 令和 2 年 7 月 30 日付けで交野市文化財保存活用地域計画協議会に諮問いたしました、「交野市文化財保存活用地域計画の策定について」、8 月 12 日に答申を受けましたので、ご報告いたします。

その間、令和 3 年の 11 月の総合教育会議、3 回にわたる市議会の所管事務調査、1 月から 2 月の間のパブリックコメントも経まして、本年 3 月の教育委員会協議会にて計画（案）を報告したところでございます。

その後、4 月から 8 月初旬までは、文化庁担当官と協議を行い、それを踏まえて文化財保存活用地域計画協議会から答申が出されました。

内容については、3 月の協議会で説明させていただいたものとは大きくは変わりありませんが、市民が読みやすいよう、また、理解しやすいよう、記載方法に工夫を行っております。その箇所を次にご説明させていただきます。

まず第 2 章ですが、30 ページの表について、美術工芸品の細区分をしておりませんでしたので、その細区分を行っております。

第 4 章の 60 ページです。本計画の基本理念と方向性が導きだされたものが教育大綱などであること、またそれを踏まえて課題

抽出のための5つの視点を説明するという、市民に分かり易い記載に改めております。

第5章の69ページから86ページです。69ページの中に星印を10か所ちりばめております。これは官公署（☆文化拠点施設）というふうに指定するところでございますが、歴史マップなどの配布予定場所をこの星印で示しております。この星印マークを69ページから86ページまでの図中に示しております。

第7章の97・98ページに交野のまちの鳥観図が完成しましたので、掲載しております。この図に計画のエッセンスを凝縮させ、市民が本計画を理解しやすくなるよう考えております。

以上のほか、細かい言い回し等について記載方法を修正しております。

今後の予定でございます。文化庁本課や関係省庁にこの計画（案）をみていただく事前審査が行われます。それを踏まえまして11月の定例教育委員会にて議案として上程し、議決後に大阪府を経て文化庁に本申請を行う予定でございます。例年の文化庁内の予定でいきますと、12月の第3金曜日の文化審議会から文化庁長官へ答申が行われ、同日認定を受ける運びとなりますのでよろしくお願いいたします。

北田教育長

説明が終わりました。8月12日に、交野市文化財保存活用地域計画協議会から答申を受けたという報告です。内容につきましては3月の協議会で、パブリックコメントが終わった後の計画（案）についてはご説明しておりますが、比較すると文言等の修正を加えて、より市民の方に分かりやすいような計画にしたということです。先日の地域協議会の中でも文化庁の方から、今回の計画の中でも、一番いい出来栄であるという評価を受けている、という報告もありましたが、出来るだけ市民の方に分かりやすくということで、作られた計画と感じます。

では、説明をお聞きになって、ご質問等はありませんか。

長谷川委員 とても興味深く拝見させていただきました。個人的な質問ですが、例えば63ページ③「交野の歴史文化」の活用が一番下ですが、星印なのでアンケート及びヒアリング等のご意見だと思いましたが、点在が多い私部地区の拠点として交野市駅があると思いますが、その駅周辺の案内板が少ないという意見に対し、94ページ、やはり私部地区ですが、誘導サインや説明版の設置などの利便性の向上等が課題としてあげられています。

 何かこれらについて、今後の計画などがあれば教えていただきたいと思います。

真鍋課長 99ページをご覧ください。中間の推進機関と関係機関がありまして、運営会議を今後発足していく予定でございます。この運営会議におきまして、長谷川委員のご質問の、サイン表示、看板などそのあたりを、私ども単独で決めるのではなく、一緒に地域の方と決めていきたいと考えております。文化庁も、そのような地域を巻き込んで計画を立てて今後やりなさいということですので、そのような方向で進めたいと思います。

北田教育長 他にいかがでしょうか。

村橋教育長職務代理者 交野市として見ていかないといけないのは、市の総合計画だと思いますが、この文化財保存活用地域計画に盛り込まれている内容で、具体的にこの総合計画の中に基本計画を中に入れ込んでいくという動きはあるのでしょうか。

真鍋課長 4ページをご覧ください。(2)交野市の上位計画の概要の中に「第5次交野市総合計画」を記載させていただいておりまして、その中の「まちの将来像」の中に「5. みんなで自然文化を慈しみ、次世代に引き継いでいくまち」と掲げられております。これに基づきましてこの計画に関しましても、大きな目標をもってやっていくところでございます。特に、ここにも書いてますように、

交野の自然というところと融合した文化財、例えば、観音岩などそのあたりを交野の特徴と考えておりますので、文化財保存活用地域計画の中でも守っていき、周知していきというところも記載されていますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

伊丹委員

97 ページの「交野の歴史文化」の魅力創出と措置の資料を見ると、とても歴史的なものがたくさんありわくわくする気がします。こういうものを活用して、過去の捉え方や子どもたちにこんなものがいろいろあるんだよというかたちで、是非活用していただければと思ひますし、例えばここに書いてある分と、実際にあるもの、文化財との関連性がいまいち分からないところがあるので、そうした誘導するようなかたちでの案内や説明書きなど、もう少し工夫していただければ、より具体的にイメージがつくかと思ひるので、是非この絵を活用していただければと思ひました。

北田教育長

他にいかがでしょう。

各委員

質疑なし。

北田教育長

質疑なしと認めます。ではこれで報告事項1の「『交野市文化財保存活用地域計画』の策定について（答申）」を終わります。

次に、報告事項2の「新型コロナウイルス感染症に関する状況について」を議題といたします。

所管課から説明をお願いします。

大湾教育次長

新型コロナウイルス感染症の状況について報告させていただきます。

第7波の新規感染者数は、お盆前にはピークを越えた感はありましたが、ここ数日につきましては若干増えているような状況です。

交野市の状況ですが、7月の新規感染者数は、2,685人と、月

別ではこれまでで、最も多くなりました。8月は、20日時点で3,158人の新規感染がある状況です。

市立小中学校の児童生徒も7月には、280名ほど陽性者報告がありました。8月も19日までに260名ほどの報告がございませう。夏休み期間中ではありませうが、クラブ活動や放課後児童会は実施されておられます。熱中症へも十分配慮しながら、感染防止対策を継続しているところだす。

教育委員会事務局職員にも、新型コロナへの感染、あるいは家族が感染し濃厚接触者となる状況が生じておられますが、仕事の分担等工夫しながら、業務を継続しているところだす。

そんな中でも、7月30日に開催されました天の川七夕まつりでは各地区から、工夫を凝らした、行灯や竹灯籠が用意され、待ちに待ったまつりの開催に、子どもたちをはじめ多くの市民の方でにぎわっておりました。

市内各地で予定されておりました、地域の夏祭りも、止む無く中止となるところが多いだすれ、昨年までとは違い、完全に中止とするのではなく、何らかの工夫により、可能な範囲で開催する地区もございませう。

教育委員会の事業も感染対策を徹底しながら進めておられます。

8月5日には教育フォーラム、プログラミングコンテストを開催いたしました。

青少年育成課主催の、忍者キャンプも37名の参加をいただき、星の里いわふねにて、先週の15日から17日の2泊3日にて予定どおり実施いたしました。

8月2日、3日と教育委員の方には、視察研修に行っておりましたが、視察先の自治体も、感染拡大の時期にも関わらず、快く受け入れていただいたところだす。

感染防止のため中止ではなく、感染防止に配慮しながら実施する、という気運になっていることが感じられます。

この25日からは2学期が始まれます。10月1日、2日には体育大会・運動会が予定されておられ、現段階では地域等から来賓

の方にも来場いただけるよう、各学校で準備されているところです。

また、小学校の修学旅行が10月後半から11月中旬にかけて予定されています。密回避のためのバスの台数増など、感染防止対策に対しましては、保護者の負担を軽減するため、引き続き、市からの補助も継続しております。子どもたちにとって一生残る思い出になる行事ですので、元気に行って欲しいと考えています。

北田教育長 説明が終わりました。質疑に入ります。報告事項2について、質疑はありませんか。

亥埜委員 報告いただいているコロナ感染者の人数が、かなり増加していますが、8月25日から2学期が始まるということで、それでも「コロナが心配で、もう少し学校を休ませます。」という家庭は出席扱いになりますか。

北田教育長 コロナが不安で休ませますという、子どもの出席の対応ということですが大隅課長お願いします。

大隅課長 以前と対応は変わっておりませんので、出席停止扱いとなります。

北田教育長 欠席にはならないということですね。

大隅課長 はい。

北田教育長 学校の方では、それぞれ出席停止の子どもたちに対する対応は、それぞれ学年とか子どもの個別の状況によって、オンラインにするのか、家庭ごとへの対応も変わって来ますし、各学校での対応になるかとは思いますが。

先ほども報告の説明にもありましたように、事務局の職員も濃

厚接触等で、勤務できないという職員もいました。放課後児童会の方でも指導員が濃厚接触者であるとか、ご本人が陽性に、ということで、なかなか業務の遂行が難しいということがありましたが、これもそれぞれ担当、あるいは周りの方で工夫して継続して業務の方を進められたのかとっております。

先ほどありました、忍者キャンプも2泊3日ということで、泊を伴うキャンプでしたので、こちらの方も、心配もありましたが、摂南大学の学生、先生も含めてご協力があって、37名、無事に2泊3日全員最後までキャンプができたということで、子どもたちも喜んでいましたし、学生もいろいろ自信になったのかと感じます。一万個のドミノ倒しも出来ましたし、そういうのも夏休み中にやったということで子どもたちの自信になりますので、コロナがあって行事を縮小しないといけないということもありますが、出来るだけ2学期も通常どおり出来る行事はやっていただいて、もちろん感染防止の最大限の配慮はしないといけません。出来るだけ通常どおりに行事をしたいと考えております。他にいかがでしょう。

各委員 質疑なし。

北田教育長 質疑なしと認めます。ではこれで報告事項2「新型コロナウイルス感染症に関する状況について」を終わります。

次に、報告事項3の「交野市立第一中学校区 魅力ある学校づくり事業の状況について」を議題といたします。

所管課から説明をお願いします。

殿山課長 「(仮称)交野市立交野みらい学園施設一体型小中一貫校整備事業」の進捗報告をさせていただきます。4月定例会でも報告させていただきましたとおり、今年度は解体工事、開発造成工事、建築実施設計を主に進めていきます。

現在は、別紙資料のとおり6月下旬から本格的な解体撤去工事

に入っており、グラウンド側の南側校舎から取り掛かっています。7月中旬には南側校舎の概ね半分が、8月初旬には下足室と図書室があった部分と給食配膳室があった部分以外は全て解体され、8月9日には南側校舎の建物は無くなりました。8月10日と19日の写真では解体したコンクリートガラを10tダンプで搬出している様子がうかがえます。

今後、地中にあるコンクリート土間、基礎や杭の撤去に入るとともに、北側校舎の解体に入ります。

なお、屋内運動場や旧給食センターの建物内の内装撤去も順次進めているところです。

北田教育長 説明が終わりました。質疑に入ります。報告事項3について、質疑はありませんか。

長谷川委員 周辺からの騒音、振動等に対する苦情等があれば、その対応等はどうですか。

殿山課長 今のところ全く苦情はございません。振動計や騒音計も西側に設置させていただいていますが、騒音や振動もそれほど大きなものではありませんでした。セミの鳴き出した時の方が逆に騒音が高かったり、私部保育園の園児たちの楽器演奏や音楽の授業の時の方が、解体工事の音よりも騒音計では大きい数値を示したといった状況ですので、今のところ、近隣には配慮しながら進められていると感じております。

北田教育長 今後は、北校舎や体育館の解体になると、私部保育園とか北側にお家がありますので、そのあたりのことも配慮しながら工事の方も進めて行くようにしています。

長谷川委員 音だけは感覚の問題になります。風向きも影響しますので、子どもの声は我慢できても、解体の音我慢できないとかいろんな

個人的な感覚なので、細心の注意を払っていただきたいと思えます。

殿山課長 分かりました。

北田教育長 私も時々前を、校舎がなくなっていくのを見ながら通りますが、今のところ予定どおり進めていますので、前から申し上げていますように、令和 7 年の春までには一貫校を完成させて、少なくとも今の小学校 6 年生が、新しい校舎に最低 1 年は入れるようにということで進めております。

北田教育長 他にいかがでしょう。

各委員 質疑なし。

北田教育長 質疑なしと認めます。ではこれで報告事項 3「交野市立第一中学校区 魅力ある学校づくり事業の状況について」を終わります。

報告事項ではないんですが、先日、8 月 2 日、3 日に私も含め教育委員の皆さんと放課後児童会の先例市へ管外研修に参りました。

我々も出発直前に抗原検査をしてコロナ対策もしましたし、相手市も、どうぞということで、子どもたちのいる活動場所も見せていただきましたし、相手市には感謝しています。相手市の担当の方ともお話も出来ましたし、それ以上に民間委託になる前に会計年度任用職員として働いていた、元指導員のお話も聞ける機会も設けてもらえましたし、あるいは委託業者、民間委託の方ともお話が出来ました。様々な意見交換が出来て、実りある 2 日間になったかと考えています。

せっかくの研修でしたので、ここで感想も含めてご意見もいただいて、事務局の方も行っていない職員もおりますので、事務局

の方と情報の共有をしたいと思いますので、皆さんそれぞれご感想やご意見をお願いしたいと思います。

亥埜委員

米原市を見ていて放課後児童クラブに若い職員の方が居られ、子どもの相手をしてくれるということで、遊び方が子どもたちの動きのある運動系の遊びにも対応してくれるので、若い方が多いというのはいいと思いました。

みよし市も今までの指導者からほとんど任用されて、雇用されているというところで、今から交野市でも心配されている雇用の問題もデメリット的なこともあまり感じられなかった印象です。

北田教育長

どうしても児童会の場合、人材をどうやって確保するかというのがいろいろ課題になってきますが、2市それぞれ、わりと人材確保等についてはスムーズだったと聞いていますし、それまでの指導員も引き続きほとんど雇用しているということでお聞きできました。

一定民間委託になったから大きく指導員が変わるということではないと、実際にその市を見て感じました。

長谷川委員

私は直接そこで指導されているお子さんたちの表情に注目していました。米原市の方も公設民営ということで、民間事業者の職員としてたくさんの方がその場におられました。亥埜委員も言われましたが、遊び方一つもそうですが、指導員のゆとりはお子さん側のゆとりにすごくつながっているのが見て分かりました。

保護者としては前々から居てくれる方のほうが安心というのはすごく分かりますが、お子さんに着目して見ていたら、例えば、新しい学生だったとしても本当に生き生きとして過ごされていたので、人材確保が一番大きな、絶対に大切にしないといけないところだと思いました。指導員のゆとりはお子さんのゆとり、お子さんの表情に直結していると感じました。

北田教育長

そうですね。みよし市の方でも、先ほど一つ申し上げた、元会計年度任用職員で指導員の方に、民間委託になって指導員の負担軽減になった職務軽減になったと言われていましたし、指導員に続けてもらおうと思えば、少しでも負担を軽減して続けてもらうというのも一つの重要なところかと思えます。そういう意味ではそういうご意見も聞いたのも良かったと感じました。

村橋教育長職務代理者

私は直接、委託業者、事業者の複数の方と管理者的な方にいろんな角度から聞いてみましたが、すごく大事にされているということが分かったのは、保護者のニーズに出来ないといけないということ。例えば民営に変わった時点の不安を払拭しないといけないので、今までのやり方を委託業者にバトンタッチしても、その中身をしっかり受け継ぐことが大前提にあり、そこが大きいです。それと私自身、教育行政に携わっている時にいつも思っていたのが時間で、ここは教育です、ここは学童保育ですという区切りがどうしても出来てしまうということを、何とかならないかと取り組んできた思いがあります。

2つの市に行かせてもらって実際に話を聞いて思ったのは、行政との連携をすごく大事にしている、同じく学校との連携を大事にしている、だから担当部課との連携、そしてより学校との連携を定期的にやっています。だから学校側が、どうですか、というよりも、委託されている事業者の方から積極的に働きかけていると、ここが大きいと思いました。そういう一番大事な部分、その一人の子どもに対して時間でバトンタッチするということは、それぞれ学校側と教育の場と、それと保育の場との連携が大事になってくる、そこを凄く重んじてやっていて、これが大きいと思います。人的な考える要素なども含めて、例えばコロナで誰かが仕事を休まざるを得ないというときに、すぐに応援体制が組めると管理者の方からお聞きして、それは大きいと思います。なかなか人の配置は難しい、しかし大事な要素です。その部分も非常に

日々研究をされて、どう保護者のニーズに対応、対処したらいいのかということも熱心に取り組んでやっておられて、そういう現場の状況が実際に行かせてもらって本当によく分かったと思います。

北田教育長 保護者と子どものことを一番に考えてという意味でも公設、公営、民営、関係なしに大事なところになるのかなと感じました。
伊丹委員のお子さんはまさにその世代ですがいかがですか。

伊丹委員 民間に委託というと、どちらかというと利益追求のような感じのイメージを持たれていましたが、話を伺っていると職務代理者が言われたように、非常に現場の状況に合わせたかたちで無理せずに移行していくという意識を感じて、独自事業でいろんなイベントをしたり、何かをしたりというかたちでキャパとしてはできると思いますが、あえてそれを出さずに、まずは指導員が指導できる範囲でやりましょう、それで様子を見て次年度以降、出来る様なことがあればやっていきたいと思いますというようなイメージでゆっくりとされていると感じました。

あとは、一部の子だけに対応させてという感じではなくて、みんなが同じ内容の保育を受けられるようなかたちでやっていきたいと言われていたのが印象的で、儲けるというような感じではなく、子どもたちがみんな同じようなかたちで保育を受けられるようなかたちを意識されていると非常に感じました。保護者の立場からすると、民間委託になると、いろんなことが変わってしまうのではないかとこのころの心配はあると思いますし、出来れば先進市を見ていただくのが一番いいのかと思いますが、なかなか難しいので、民間委託をされているような委託業者に説明をしていただくような機会を設けていただいて、実際にこういうかたちでやっていますとか、あるいはこういう理念でやっていますとか、実施したらこう変わりますとか、そういったところを保護者に対して説明いただくようなかたちになると安心して移行でき

るかと思ひます。

北田教育長 青少年育成課の方でも、保護者の方にも視察を考へていたみたいですが、コロナの拡大もあつて相手市も難しいということで出来なかつたということですが、今伊丹委員も言われたように、逆に先進市の方や委託事業者に来てもらつて説明してもらつてということも一つの方法かと思ひますし、もちろんいい点ばかりではなく課題も含めて説明していただければ、保護者の方もより理解が深まるかと思ひますので、今のご意見を参考にしてもらつて出来ればそういう方法を取つてもらえればいいのかと思ひます。

他にいかがでしょう。

各委員 異議なし。

北田教育長 以上をもちまして令和4年第10回教育委員会定例会の案件全てが終了いたしました。

交野市教育委員会会議規則第20条の規定により署名する。

交野市教育委員会

教育長 _____

委員 _____